日刊 動労千葉

85. 7. 8

No. 1983

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

勝浦の磯に集い、腕競う
第一回磯釣り大会(7/6)開かる

サークル協主催第一回磯釣り大会は、七月六日勝浦において六支部から二六名の愛好家が参加して行われ、自慢の腕を競った。

悪コンディションの中で全員が健闘

第一回磯釣り大会は、好釣場の多い勝浦で開催され、準備支部の勝浦支部の仲間の協力を得、多くの組合員が参加した。

勝浦運転区で行われた開会式では、水野副委員長から「今日一日、思う存分に磯釣りを楽しみ、これからの闘いにむけた鋭気を養ってほしい」とのあいさつをうけ、高梨準備委員から説明をうけ、思い思いの釣場にむかった。

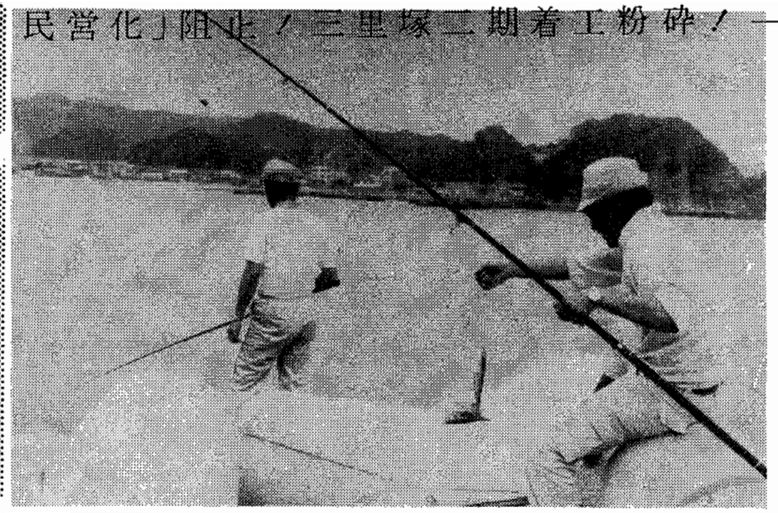
勝浦一帯の磯、堤防で全員が腕を競い合ったが、生憎の強風という悪コンディションにはばまれ、期待した釣果はあげられなかった。

十五時三〇分に勝浦運転区に集合し、計量の後閉会式が行われ、入賞者に記念品が手渡された。

磯釣り大会は、次回の健闘を誓い合い十六時半散会した。

成績は次のとおりである。

優勝・石渡裕基・千葉転・二四〇〇g 五目
準優勝・中村勝巳・勝浦・一六五〇g 〃
第三位・大和久宏・千葉転・一四〇〇g 〃
第四位・佐久間英雄・千葉転・一三〇〇g 五目
第五位・峯嶋光男・勝浦・七五〇g 〃
大物賞・君塚広行・勝浦・二四〇gメジナ
敢闘賞・武井明道・新小岩
〃・重見敏夫・津田沼
〃・鈴木覚・館山
〃・小西一美・銚子
〃・沢秀浩・勝浦



民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

国鉄「分割

村越講師をまねき
第3回労働学校開かる(6/29)
『資本主義と社会主義 その1』①労働者階級は革命的階級である ②資本主義の批判としての社会主義

感想文 敵をうちかつ強じんな思想、理論を学びたい

千葉転支部 S生

今回の学習は、資本主義と社会主義についてというテーマで、約三度間にわたり、マルクスの著作をもとに、社会体制の歴史的移り変りと、労働者の物の見方を学びました。

その内容は労働者は一つの階級であり、資本主義社会の、資本の下では、労働者はバラバラに階級としては解体され、お互いに競争相手として対立させられたりもしているが、本質的には労働者は労働者階級として、資本の人格的表現としての資本家階級と対立している事。

労働者はあるがままではバラバラな存在だが、自ら団結し、資本とたたかい、自らの組織をもつことなどをとおして自らをひとつの階級へとたかめていく。

労働者階級の思想、理論、イデオロギーで自覚された労働者は、階級的立場を貫き、資本の支配とたたかい、これを打倒することの正義性を確信する。又、労働者のたたかいは、敵の攻撃の激しさによってのみ、単純に敗北することはない。敵の攻撃のまえに、たたかいの内部から崩壊がおきたとき敗北する。したがって、敵にうちかつ強靱な思想、理論で武装されているか否かが決定的に重要であるということであった。

今日、反動中曽根のもと新たな戦争、侵略にむけた国家づくりの攻撃が、全社会的にかけられてきており、とりわけ、国鉄労働者十五万人の首切りを目前にして、われわれの反撃の羅針盤としての理論武装の決定的役割の重要性を痛感しました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！